

皆様、こんにちは。ただいまご紹介をいただきました、経済産業大臣の世耕弘成でございます。

本日は、地域未来牽引企業 in 会津若松に、こんなにたくさんの、文字通り地域の未来を牽引する企業のトップの皆様にお集まりいただきました。心から感謝を申し上げます。そして、内堀福島県知事、室井会津若松市長をはじめ、地元の皆様にも温かくおもてなしいただいていることを、心より感謝申し上げます。

今日、このサミットを開催することができ、感無量でございます。ここまで、長い道のりがありました。

まさに第4次産業革命という動きがある中で、日本の地域の経済をどうやって活性化していけばいいのだろうかという議論を、経済産業省の中で行ってまいりました。そしてその中で、今までの、それぞれの地域に色々な大企業の工場を誘致するといった事だけではもう地域経済は活性化しない、逆に、地域に眠っているポテンシャルを地域の側からぐっと盛り上げて、県外・あるいは海外に攻めていくとこそが必要なのだという発想に立ち、我々は地域未来投資促進法という法律を制定させていただきました。

この地域未来投資促進法に基づき、地域を牽引する事業を担う企業に対して、予算・税制・金融・規制緩和など多様な政策手段を集中的に、そして総動員して支援をしていく考えです。

そして、それだけでは地方の皆様はまだわかってもらえないかもしれないということで、こういう企業こそが地域の経済を引っ張っていつてくれる企業ですよ、という事を、あえて経済産業省の方から提示させていただこうと、2,148社の地域未来牽引企業を選ばせていただきました。

その皆様には是非一堂に会していただいて、この地域未来牽引企業の考え方、地域未来投資促進法の考え方をわかっていただきたいという思いで、今日この地でサミットを開催させていただいたわけでございます。

そして、もう一つ、今日の特徴は地域未来牽引企業のトップの方々だけではなくて、その皆様のビジネスをサポートさせていただく機関の人間も多数集まっていたというわけでありまして。金融機関、研究所、そして、商工関係団体をはじめ多くの方々にも、今日この場に来ていただいております。そして我々経済産業省からも、各地方の経済産業局長全員が、集まっております。

地域未来牽引企業のみなさんと、みなさんをサポートさせていただく立場の人々が一堂に会することによって、色々な意見交換を深め、情報交換を深め、あるいはそんな中から新たなビジネスが出てくる、あるいは支援する立場に対して「もっとこういう支援をやってほしい」というご意見をぶつけていただく、今日は是非そういう場にしていきたいという風に思います。私も今日は、徹底的に最後までお付き合いをさせていただきます。

そして、今回、開催場所を福島県の会津若松市にさせていただきました。これは、経済産業省も大きく関係をしてまいりました、福島第一原発事故の風評被害から、これだけ距離が離れた会津地方もまだ立ち直っていない、観光客がなかなか戻っていないという事でありました。けれども、そういう地域に風評を吹き飛ばしていただく一助にさせていただきたいという思いで、今日は会津若松市での開催を決めさせていただきました。是非皆様、この会津若松市の素晴らしい風土を楽しんで帰っていただき、帰られたら、「よかったよ、あなたも行ったら」という声を、全国で広げさせていただきたいという風に思います。

この私の思いが通じたのか、いま、会津若松では、桜が満開であります。

今日は皆様とともに、充実した素晴らしい一日にして参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。